

旭川空港

【実施主体:個社】

旭川空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先との契約金額に値上げを反映し実施済み。(継続)	
		外航受託料の引き上げ	外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
		総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度及びR6年度の契約料の引き上げを実施。R7年度契約料の見直し検討に着手。	
		検査会社への委託料の見直し	本社にて、国内定期航空保安協議会を通じて、R5年度及びR6年度契約料金の引き上げを実施。R7年度契約料の引き上げを実施するとともに処遇改善状況を確認。	
		契約改定済み	毎年契約交渉を実施	2025年度契約交渉実施中
		関連団体への次年度契約料金の値上げ交渉	関連団体への次年度契約料金の値上げ交渉	契約料金引き上げに応じていただいた。
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化(キャンセル料の設定 等)	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。(継続)	
		外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項の導入検討に着手。	本社にて、最低保証条項の導入を実施中。
		検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	時間保証と共に、準備時間を含む内容で実施中。
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
		オフィスや休憩スペースの増床・リニューアル	オフィススペースや休憩スペースの増床を検討しているが、実施に至らず。休憩スペースについては、空港ビル全体での取り組みの中で解決したい課題と認識。	

【実施主体:個社】

旭川空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	休憩室へのコロナ対策、除菌・脱臭装置の導入	感染症予防および休憩室をより良い環境にするため、「UV-LED」と「光触媒」による除菌・脱臭装置を逐次導入した。	設置後クラスター発生なし
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	委託先社員数や労働時間の定点的な情報収集	委託先社員の負担を含め、定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。負担の集中が見られる場合には適切な対応を図っている。(継続)	
		生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	毎月実施している受委託定例会議にて、生産体制について確認。本社へ報告。対応について検討中。
		1日の営業時間における作業量(配置人員)を見える化	運航便数およびスケジュールによって見直し	
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	正社員領域、派遣領域の見直し	復便、増便に伴う社員負担の軽減のため、採用を強化するとともに、正社員領域の見直しを実施。(継続)	
		外航側からの応援要員派遣	本社にて外航と調整し、不足人員を外航側からの応援要員で暫定的に充足。	外航応需調整時に都度状況に応じて対応。
		新規定期便受託における採用実施	採用および受託制限などで負担抑制	
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用)等)	総代理店合同企業説明会の実施	総代理店合同企業説明会の実施	
		羽田での企業説明会での求人チラシ配布	航空会社との情報共有	羽田での企業説明会時に地方空港にて求人を行っていることパンフ配布、航空会社からの情報共有により実施
		2024年度採用の早期募集開始	2024年度採用募集を例年より早く、各学校へ募集案内を実施	早期募集を行った結果、2024年5月中に2025年4月入社3名を内定することができた。2026年4月入社募集について引き続き早期募集を行う予定
		入社準備金・社宅6か月間無料	新規採用者の入社時の負担軽減の為、入社準備金のほか、Uターン希望者は、寮負担を半年間全額補助	

【実施主体:個社】

旭川空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫(実践技術に特化した訓練等)	同業他社との教育課程の調整	ランプ領域では地方空港における両社共通の委託先のグラハン作業資格・教育の相互承認、作業手順の共通化について議論を進め、車両操作資格については2024年4月より、可能なものから相互承認を実施していく。	同一の委託先10空港を対象に継続して実施。今後は旅客領域にも展開予定。
		VRを活用したGSEを使用した訓練を実施できる機材を導入予定	R7年1月より先行してグループ各社で使用を開始。総代理店に対してはR7年4月以降希望する会社に期間を定めて貸与する	
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	7月末退職職員をアルバイト雇用	7月末に退職した職員をアルバイト契約を行い国際線ハンドリングを行なった	7月末に退職した職員に加えてOGを含めた3名とアルバイト契約を行い業務継続中
【中期】	長期に誇りをもって勤められるキャリアパスの整備	-	社内制度整備済み	社員のモチベーション向上ならびに意欲に応じた活躍機会の提供、また、社員および家庭の事情等により広域異動が困難となる場合の就業支援を目的として、キャリアに合わせた双方向の社員区分変更を可能とする仕組みを導入。
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	オフィススペースの増床・リニューアル	復便、増便に伴う社員増に対応すべく、オフィススペースを増床。あわせて、職場環境の改善を図るため、改修を実施。社員エンゲージメントの向上、採用競争力の強化、コミュニケーションの活性化を図る。	国内複数空港において、オフィスおよび休憩室の増床/改修工事をFY24に実施済(予定)。FY25以降も順次対応予定。
		事務所・休憩室・更衣室の環境整備	グラハン更衣室・休憩室の拡張 事務所什器の入替をおこない、職場環境の改善を図る	
		搭乗研修制度の利用回数増加	1回/年の搭乗研修制度を4回/年に増やした	
		カスタマーハラスメント対策の推進	ANAグループとJALグループ共同で「カスタマーハラスメントに対する方針」を策定。	
		航空会社で休憩室拡大等環境改善を実施 空港ビルとして空港職員の休憩スペースの新設	職場環境改善を実施いただいた	

【実施主体:個社】

旭川空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【中期】	特定技能制度の積極的な活用			
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現	同業他社との教育課程の調整	ランプ領域では地方空港における両社共通の委託先のグラハン作業資格・教育の相互承認、作業手順の共通化について議論を進め、車両操作資格については2024年4月より、可能なものから相互承認を実施していく。	同一の委託先10空港を対象に継続して実施。 今後は旅客領域にも展開予定。
		業務限定短時間労働者の雇用	タイミー社など状況に合わせた対応を実施	
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定	手当の新設	賃金改定実施	社内インストラクター手当、ロードマスター手当等を新設
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し(保安検査における長い拘束時間の見直し 等)			

【実施主体:空港会社等】

旭川空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	空港内の労働環境の改善	空港関係職員のための休憩室の設置	旅客ターミナルビル内に、空港関係職員のための共用休憩スペースを設置。	
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動(空港短期の合同説明会等)	空港お仕事ミニフェスタの開催	空港業務に関するお仕事紹介を旭川空港で開催。旭川空港のエアライン、グラハン、保安関係者等が参加。	R6.9の「空の日/空港まつり」の中で開催。R5年度に続き開催。100名超の来場者であった。(保護者含む)
		外部機関主催の企業説明会等への参加	旭川市内で開催の合同企業説明会等へ参加し、空港業務に関するお仕事を紹介。旭川空港のグラハン、保安関係者が参加。	
		本社HPに採用情報を掲載	HPでの採用広報活動	
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活動推進	旭川空港WGの開催(必要に応じて開催)	空港WGを通じ、主に国際線の運航に関して、航空・空港関係者の現状確認や情報共有を実施。	
		空港別協議会(分科会)の開催	空港所在自治体や地元経済界などで構成される会議体を通じ、各構成員の人材確保取り組みを情報共有。	
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進			
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進(「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等)			

【実施主体:空港会社等】

旭川空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入			
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体:地方自治体】

旭川空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化(人員体制等の正確な現状把握 等)	事業者等との意見交換の実施	各事業者と意見交換を実施することで、人材確保の状況や課題などを把握。	
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施	空港運営者、グラハン会社等への企業説明会の斡旋	空港運営者、グラハン会社等へ行政の人材募集サイトへの掲載や商工会議所主催の地元企業説明会を斡旋したほか、人材募集ポスターを制作。	
		オンラインセミナーの開催	移住担当課と連携して、移住希望者や空港業務に関心のある層を対象に、空港業務の内容ややりがいなどを説明するオンラインセミナーを開催。	
		空港業務受託事業者への支援	道内地方空港における国際線の受入環境を整備するため、新たに(増便・再開含む)運航される国際線に係る空港業務を受託する事業者に対して、地上支援業務に要する経費の一部を支援。	
		航空地上支援業務人材確保に向けた取組への支援	若年層を対象に、地域の空港を支える人材を将来にわたり安定的に確保するため空港空港業務の認知度向上や職業観の早期形成に向けた取組を支援。	
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局(観光、産業振興 等)と連携した支援の実施			
【短期】	空港WGの活用推進			
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討(空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等)			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備			

【実施主体:地方自治体】

旭川空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致(交通部局と観光部局との緊密な連携)			
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実	①空港業務の人材確保支援 ②空港業務スタッフ応援食事チケット支給	①保安検査業務・地上支援業務の新規採用者が業務を継続する場合に、奨励金を支給する。 ②夏期チャーター便の受入れに伴う空港業務スタッフの負担増が懸念されるため、支援の意を込めて空港内で利用できる食事チケットを支給した。	
	【個別取組事項】	旭川空港の人材募集に係るWebページの改修・SNSターゲティング広告の実施	R5年度に引き続き旭川エリアに居住する17～35歳の者を対象として、保安検査・グラハンに係る人材募集のSNS広告配信を実施した。	